

# 学校法人エリザベト音楽大学

2022(令和4)年度

2022(令和4)年4月1日から2023(令和5)年3月31日まで

## 事業報告書

### 1. 法人の概要

#### ①建学の精神・教育理念・行動標語

##### 【建学の精神】

大学の究極目的は、人間社会全体の形成であり、従って、個人の完成である。芸術は、人格の開発と表現のためにも、神との一致の道を切り開く人間相互の一致のための手段としても重要であることから、本大学は、人格完成を芸術、特に音楽の観点から強調するのである。

それゆえ、深く音楽芸術に関する理論および技能を教授研究するとともに、広く知識を授け、良識ある音楽家を育成することを旨とする。

1. 本大学は、カトリシズムの精神に基づいて創立され、かつそれを指導原理としている。
2. 本大学は、カトリック・イエズス会の教育方針に従い、一般教育科目および外国語科目にも力を注いでいる。
3. 本大学は、すべての人々は兄弟・姉妹であるという精神から、家族的雰囲気をもととする学生1人1人とのきずなを教育の礎としている。
4. 本大学は、一般音楽のほかに、グレゴリアン・チャント、ポリフォニーおよび現代宗教音楽等の教授・研究において他にみない特色を有している。
5. 本大学は、国際的な友好関係のもとに維持されており、日本古来の文化と西欧文明との融合をその究極の使命としている。
6. 本大学は、音楽芸術をとおして、神秘的観想の精神に達することを究極の教育理想としている。

##### 【教育理念】

《 教養・実力・慈愛のある音楽家の育成 》

カトリシズム（普遍性）の精神に基づき、  
幅広い教養・専門教育をとおして、  
自分を高め、「他者のために生きる」人材を養成する。

音楽芸術および音楽教育に関する  
理論、技能および実践の教授研究により、  
真に芸術を愛し「美」の追求に真摯な人材を養成する。

平和を愛し、  
地域社会および国際社会、とりわけアジア地域に  
貢献する人材を養成する。

##### 【行動標語】

音楽をとおして 私が変わり 世界を良くする人になる

## ②学校法人の沿革

年 月 日	沿 革
1947(昭和22)年9月	広島音楽教室開設(現エリザベト音楽大学付属音楽園)
1948(昭和23)年4月	県公認広島音楽学校開設
1950(昭和25)年1月	財団法人広島音楽学校に名称組織変更
1951(昭和26)年3月	学校法人広島芸術学園に名称組織変更
1952(昭和27)年3月	学校法人エリザベト芸術学園に名称組織変更
1952(昭和27)年4月	エリザベト音楽短期大学(2年制) 開設
1954(昭和29)年4月	宗教音楽専攻科(1年制) 設置
1959(昭和34)年4月	エリザベト短期大学と改称(音楽科3年制、宗教科2年制)
1961(昭和36)年12月	ローマ教皇庁立宗教音楽院の姉妹校となる(BMS宗教音楽士の授与認可)
1963(昭和38)年4月	学校法人エリザベト音楽大学に改称、4年制のエリザベト音楽大学昇格開設、3年制短期大学と宗教科廃止
1967(昭和42)年4月	音楽学部音楽学科宗教音楽専修を宗教音楽学科として増設 (音楽学科・宗教音楽学科の2学科編制)
1976(昭和51)年4月	音楽学部声楽学科、器楽学科増設 (音楽学科・宗教音楽学科を加えて4学科編制)
1980(昭和55)年4月	音楽専攻科(1年制) 開設
1990(平成2)年3月	音楽専攻科廃止
1990(平成2)年4月	大学院音楽研究科修士課程設置
1993(平成5)年4月	大学院音楽研究科音楽専攻博士後期課程設置
2001(平成13)年4月	音楽学部を改組、音楽文化学科、演奏学科開設
2003(平成15)年4月	音楽文化学科幼児音楽教育専修開設(幼稚園教諭免許課程設置)
2006(平成18)年3月	音楽学科、宗教音楽学科、声楽学科、器楽学科の4学科を廃止
2011(平成23)年3月	日本高等教育評価機構から平成22年度大学機関別認証評価の認定
2018(平成30)年12月	新3号館竣工および既存施設(セシリアホール・1号館・本館・333教室等)改修完了
2018(平成30)年3月	日本高等教育評価機構から平成30年度大学機関別認証評価の認定
2018(平成30)年度	創立70周年記念事業コンサートシリーズ実施
2018(平成30)年8月	アセアック(ASEACCU: 東南・東アジアカトリック大学連盟総会・学生会議)を本学で開催
2019(令和元)年度	セシリアホール開館40周年&記念コンサートシリーズ開催
2023(令和5)年3月	創立75周年、本学教員をソリストに広島交響楽団との共演で記念演奏会を開催

③設置学校の学部学科等学生定員・在籍学生数

当法人の設置する大学の学部学科等、学生数の状況は次のとおりです。

エリザベト音楽大学

音楽学部 (( ) 内は入学定員/収容定員)

音楽文化学科 (20人/80人)

演奏学科 (50人/210人)

合計 (70人/290人)

大学院音楽研究科 (( ) 内は入学定員/収容定員)

修士課程

音楽学専攻 (3人/6人)

宗教音楽学専攻 (2人/4人)

声楽専攻 (3人/6人)

器楽専攻 (12人/24人)

合計 (20人/40人)

博士後期課程

音楽専攻 (3人/9人)

2022年5月1日現在における在籍学生数は、次のとおりです。

音楽学部

(単位:人)

大学院音楽研究科

(単位:人)

	1年	2年	3年	4年	計
音楽文化学科	11	15	20	14	60
演奏学科	44	44	57	42	187
計	55	59	77	56	247

	1年	2年	3年	計
修士課程	22	7		29
博士後期課程	1	0	1	2
計	23	7	1	31

④教職員

2022年5月1日現在における教職員の状況は、次のとおりです。( )は2021年度

学長	教授	准教授	専任講師	助教	専任教員計	兼任講師	専任職員	兼任職員
1(1)	13(14)	11(9)	5(8)	1(0)	31(32)	127(118)	19(21)	5(5)

平均年齢 専任教員: 51.5(51.8)歳 専任職員: 49.3(55.0)歳

⑤役員・評議員

2022年6月1日現在における役員・評議員の状況は、次のとおりです。

種別	寄附行為の規定(選任条項)	定員	現員	氏名(敬称略)	
理事	第5条 第12条	(1)学長	1	1	川野祐二
		(2)評議員	2~3	2	中村英昭、木阪信子
		(3)学識経験者	1~2	1	山城宏樹
		(4)イエズス会日本 管区長の推薦者	1	1	梶山義夫
	合計	5~7	5		
監事	第5条、第13条	2~3	3	三好彰、下崎邦明、遠藤秋実	
	合計	2~3	3		

評議員	第 17 条 第 2 項 第 21 条	(1) 法人の職員	2～3	2	馬場有里子、福原之織、
		(2) 学校卒業生	2～3	2	永岡敏彦、森佳代子
		(3) 理事互選	5～7	5	川野祐二、中村英昭、梶山義夫、山城宏樹 木阪信子
		(4) 学識経験者	6～7	6	三島豊、市川太一、村上健、飯田美智子、 大方幸一郎、白浜満
合計			15～20	15	

#### ⑥責任限定契約の状況

私立学校法に従い、2020年4月1日付けで責任限定契約を締結した。

- ・対象役員の氏名

非業務執行理事（中村英昭、梶山義夫、木阪信子、山城宏樹）

監事（三好彰、下崎邦明、遠藤秋実）

- ・契約内容の概要

非業務執行理事および監事が任務を怠ったことによって生じた損害について、この法人に対し賠償する責任は、その職務を行うにつき善意でかつ重大な過失がないときは、金20万円以上であらかじめ定めた額と私立学校法において準用する一般社団法人および一般財団法人に関する法律で定める額とのいずれか高い額を責任限度額とする。

## 2. 事業の概要

### (1) 大学経営の取り組み

#### ①建学の精神・教育理念の実現のために

2022年度も年間をとおして新型コロナウイルスの感染状況に留意しながらの教育活動を行いました。感染予防策の定着に加え、情報収集と経験値を生かして、基本的に対面授業を実施し、定期演奏会（10月）、チャリティークリスマスコンサート（12月）および卒業・修了関連行事も無事終えることができました。毎年4月に開催されるゴーセンス記念講演会は、イエズス会の山内保憲神父による講演「聖イグナチオの年」を開催しました。

#### ②学生数確保の取り組み

一昨年度来、コロナ禍での学生募集活動には多くの制限が余儀なくされる中、進学ガイダンスおよびオープンキャンパスについては変化する状況に対応しながら実行しました。業者主催によるガイダンスおよび出前授業はコロナ前の状況に戻りつつあります。しかしながら、コロナ禍にあつて数々の募集活動に挑戦しましたが、学部の新入生は、近年で最も少ない人数になりました（詳細は後述）。

#### ③中長期計画に沿った将来計画の策定

施設・設備および財政に関する計画の大幅な見直しはせず、建物設備簡易診断に基づく施設・設備補修計画による補修および経年変化（劣化）についての改修を行いました。これからも施設・設備の経年変化（劣化）については、安全・安心な施設・設備利用に必要な改修

を着実に行うとともに、幟町キャンパスの校舎および音楽ホールの建て替え計画、また西条キャンパスの利活用策の検討を継続して行います。

#### ④国際交流について

新型コロナウイルス後の留学生の受け入れを活性化させるため、志願者を対象としたオンライン入試を実施し2023年度入学者3人を選考しました。徐々にコロナ前の交流状況に近づきつつあります。

### (2) 教学について

#### ①教学改革について

2022年度から新カリキュラムが施行され、1年生のみターム制を導入するなど大きな変革を実行しました。新制度を進めるに際して教職員は一丸となって取り組み、個々の授業運営の状況、教育成果の報告と検証は、教学役職者を中心とした会議において確認されました。

学生の4年間の学びを充実させ、成果を明示する「学修の可視化」については、ソフト開発を含めシステムの構築を前年度から継続していますが、完成には至っていません。

コロナ禍で数多くの制約がある中で、学生の学習活動に不可欠な研究発表、演奏活動の場を学内外において少しずつ広げました。また、地域貢献活動においても感染対策に留意しながら学生が携わる機会を増やしました。

#### [音楽文化学科]

音楽文化学科では2022年度より、「専門性が高く充実した教育達成」を基幹目標とした新しいカリキュラムの運用が始まりました。これまで同様、学科内の相互協力によって横断的な学習機会の提供を奨励しています。

音楽文化専修では、新カリキュラムのもとに3つの履修プログラムを設け、各授業内容の改善を図りました。これにより、各学問領域の段階的学びを重視した2つのプログラムと、複数領域を選択的に学ぶことができる総合的なプログラムが実現し、より高い専門性と柔軟な学びの課程の試行的実践を始めました。新たなカリキュラムのグランドデザインは、卒業後に様々な分野で活躍していける人材育成を目指しており、完成年度に向けて、学びのかたちや取り組みを拡充していく予定です。コロナ禍で過去2年間実施できなかった各種の社会連携事業も復活し、多くの学外実習の機会を学生に提供することができました。

幼児音楽教育専修は、音楽大学の幼稚園教諭免許課程としてふさわしい音楽的な資質・能力と教育理論の融合を目指して、幼児期の音楽教育に必要な指導力の育成に取り組みました。具体的には保育現場で実践可能な音楽指導に加え、これからの幼児教育の方向性に沿った保育実践に注力し、学生一人ひとりに対して専修全体で丁寧な指導を行いました。また、幼児を対象とした音楽を楽しむ場を社会貢献活動として提供することができました。

## [演奏学科]

演奏学科では2022年度入学者から新カリキュラムの運用を開始し、基礎力の涵養に主眼を置いた1年次の科目については一定の学習成果がみられ、学生からの授業評価でも肯定的な意見が多くありました。

また新しい学修システムの一環として、履修プログラムの運用が始まりました。1年次の9月に学生の意識調査を行い、年度末に希望プログラムを決定しました。卒業後の進路を明確にし、2年次から4年次の積極的な学びをサポートするシステムとして定着を図ります。

同時に、学生自身による毎回のレッスンの記録や、実技試験時に教員が個々の学生に対して記入するチェックシートを学生がファイリングする「実技カルテ」も導入しました。この試みは教員と学生間での情報共有と交流に役立ちました。

各分野で活躍する特別講師を招聘することにより、講座・公開レッスンを通じた研究の機会が学生に提供され、海外の文化やトレンドを知る貴重な機会になりました。

演奏学科に所属する教員は演奏技能維持、研究業績拡充および入学志願者へのアピールのため、学内外で積極的に演奏を行いました。特に2023年3月に開催された〈エリザベト音楽大学創立75周年記念演奏会 Vol.1〉では、3人の教員が広島交響楽団と共演し、演奏家としての実力を発揮しました。

年間を通じて開催された演奏会や発表会においては、オーケストラ・合唱での学生の貴重な演奏機会が感染症対策を慎重に施しながら維持され、授業あるいは特別練習において教員との共同作業による効果的な学習経験を数多くもつことができました。

## [大学院]

前年度に引き続きオンラインを活用した留学生入学試験を実施し、2023年度の新入生は3人となりました。また、2022年9月には、協定校であるシュトゥットガルト音楽演劇大学大学院から初めての交換留学生1人を1年間の予定で受け入れました。大学院公開講座は、招聘計画が順延となっていたカナダの音楽家ローズマリー・ランドリー氏の来日が可能となり、5月20日に公開レッスンを実施しました。

大学院のカリキュラム改訂は、引き続き、年間をとおして継続的に課題点の洗い出しを行い、現行カリキュラム下で対応可能な部分も含めて今後の改善策の検討を進めました。

## ②学生生活支援

### [学生生活について]

学生の人間的成長と自立を促すため、学生にとって必要な時宜を得た内容を選び、合同オリエンテーションを実施しました。学生会主催行事の大学祭は大学関係者のみの参加で開催し、クリスマスパーティについては、飲食をせず、コロナ対策に留意して行いました。

学生生活センター室長を中心に学生生活委員会を定期的に開催しています。とりわけ、配慮の必要な学生、生活面での悩みや課題を抱えた学生および障がいのある学生については、委員会での情報交換を行うとともに、学生相談室、保健室との定期的な連絡会を実施するな

ど教職員間での連携を密にして指導にあたり、状況の改善を図りました。

経済的支援については、日本学生支援機構の給付奨学金、高等教育の修学支援による入学金・授業料等減免の迅速な対応にあたりました。奨学金受給学生がより充実した学生生活を送れるよう、面談・個別指導を実施し、意識の向上を促しました。

また、これらの奨学金とは別にコロナ対応のための学生への修学支援策として次のとおり大学独自の奨学金を支給しました。

月	奨学金の内容	対象	金額
通年（3月末まで）	新型コロナワクチン接種補助金	接種学生	一律1,500円
11月以降	インフルエンザ予防接種補助金 学校医 島内科のみ（学内、院内）	接種学生 （教職員含む）	3,300円

#### 〔就職・進学サポートについて〕

##### ア) 支援体制

キャリア支援室をはじめ、キャリアサポート委員会、学生生活センター室長、ホームルーム担任、指導担当教員が連携して学生のニーズに沿った対応を行いました。教職に関しては、教養・教職主事ならびに関係教員が計画的に実践的指導を行い、高い合格実績をあげました。

##### イ) 進路面談

3・4年生全員に対して「進路希望調査票」をもとに個人面接を実施し、キャリア意識の醸成、就職、進学の意識を確認し、面談を継続することにより支援を行いました。

##### ウ) 進路オリエンテーション、YouTube チャンネル（キャリア支援編）

2022年度は春季オリエンテーション時に学年別の「進路オリエンテーション」を行い、学年ごとに進路実現に向けて取り組んでおきたいことを外部講師の講話も取り入れながら実施しました。卒業生自身が自らの進路を録画した YouTube チャンネルは、新規に1本追加して、合計11本を学内限定で公開しました。

##### エ) 就職状況

学部卒業生54人の内、就職者数44人、進学者数7人。卒業者に占める就職者数・進学者数の割合は94.4%でした。（2023年4月末現在）

### ③国内および国際交流

#### 〔国内外の交流〕

2022年度は、国内外の交流プログラムの一部は感染予防対策を講じながら再開しました。国内では地域への貢献として本学留学生が多く演奏を披露しました。具体的には、7月に広島市留学生会館での「七夕ミニコンサート」、11月に同会館の交流イベントで本学留学生がプログラムを組み演奏しました。また、11月には日本産業退職者協会主催の「留学生との交流会」、12月にひろしま国際センターによる「奨学生交流会」で、演奏しました。

海外プログラムに関しては、昨年 2021 年から続く AJCU-AP イグナチオイヤーのプログラムのひとつである Short Video Competition に、「人間学Ⅲ－1（サービスマーケティング）」の履修生 4 人が自作ビデオを応募しました。8 月は、第 27 回 ASEACCU（東南・東アジアカトリック大学連盟）総会および学生会議（カンボジア・セント・ポール大学）に、川野祐二理事長・学長が出席しました。

さらに、Communications Consultant Jesuit Conference of Asia Pacific による Arrupe Animation Project への協力として、故アルペ神父に関する動画作成に際して、その内容に相応しいバックミュージックの情報提供をアント先生が行いました。

海外での国際交流コンサートは延期となったものの、定期演奏会およびチャリティークリスマスコンサートでの収益を、ザビエル・ラーニング・コミュニティ（タイ）および聖ジョアン・デ・ブリトー教育大学（東ティモール）へ寄付する形で支援を実現しました。

#### 〔国外交流協定校との交流事業〕

中国の長春人文学院とは国際交流に関する意見交換が行われていますが、四川音楽学院、フィリピンあるいはタイ他のアジアの音楽系大学（学部）とは、現時点で交流が停止しています。しかしながらベルギーおよびドイツについては、2023 年 4 月に学長と教員が訪問し、協定書に関して更新および協議、演奏会他を実施することが決定しています。

#### ④演奏活動

2022年度は、計画していた演奏会を全て予定どおり開催することができました。多数の来場者が見込まれた定期演奏会はアステールプラザ大ホール、〈エリザベト音楽大学創立 75 周年記念演奏会 Vol. 1〉は HBG ホールで実施し、密集を回避するなど各演奏会で感染防止策を徹底しました。

創立 75 周年記念演奏会は広島交響楽団と本学教員の共演という質の高い演奏会を実施することができました。今後も複数回継続予定です。

各演奏会の出演者等の詳細は次のとおりです。

日 程	演奏会名・行事名・会場・出演者	備考
4/9 (土)	第5回ESpoir新人演奏会(セシリアホール) 【エリザベト音楽大学・くらしき作陽大学大学間包括交流協定事業】	本学新卒者 4 人
6/25 (土)	スピリチュアルコンサート(セシリアホール) 共催:(公社)日本産業退職者協会 トランペット:小林 鴻 オルガン:福原之織 ヴァイオリン:上野美科・山下大樹 ヴィオラ:田中 茜 チェロ:岩橋 綾 コントラバス:飛田勇治	コンサート シリーズ I



10/14 (金)	イラーチェク・フォン・アルニン, ヤン客員教授ピアノリサイタル (セシリアホール)	コンサート シリーズⅡ
10/28 (金)	エリザベト音楽大学 第81回定期演奏会 (JMSアステールプラザ大ホール) ピアノ: 緒方廉太郎 (オーディションで選考された学生) 指揮: 飯森範親先生 演奏: エリザベト音楽大学交響楽団	
12/10 (土)	チャリティークリスマスコンサート (セシリアホール) 指揮: 大谷研二 寺沢希 演奏: エリザベト音楽大学合唱団 合唱委嘱 糀場富美子先生の作品を披露	
2/21 (火)	創立 75 周年記念 トン・コープマン パイプオルガンリサイタル (セシリアホール)	
3/5 (日)	○卒業研究発表・演奏会 音楽文化学科 (ザビエルホール) 研究発表: 音楽文化専修 (デジタル鍵盤) 1 人、 幼児音楽教育専修 3 人 ○卒業演奏会 演奏学科 (セシリアホール) 独奏: 声楽 3 人、ピアノ 3 人、オルガン 1 人、 管弦打楽器 3 人 ○大学院新人演奏会 / オルガン 1 人 (3/3 から日程変更) ○卒業生全員合唱	

#### ⑤ 学生募集活動および広報活動について

〔学生募集について〕

2022 年 4 月時点でのコロナ感染状況等を鑑み、進学ガイダンスにおける教員コンサートの開催を見送り、実技レッスンと個別相談のみ実施しました。他方開催会場は、前年の 12 から 16 会場に増やしました。さらに 7 月以降のガイダンスでは、教員コンサートを行い、演奏会効果による参加者動員を図りました。

オープンキャンパスは、第一回 6 月、第二回 7 月、第三回 8 月、秋のオープンキャンパス (10 月)、そして春のオープンキャンパス・スプリングフェスティバル (3 月) をそれぞれ実施しました。6 月から 10 月のオープンキャンパスでは、遠隔地からの参加者に対する交通費補助を実施。昨年同様、補助の回数上限を定めず、複数回オープンキャンパスに参加する熱心な高校生への支援強化としました。

本学教員による出前授業は、前年はコロナ感染状況により受け入れる高校側からのキャンセルもあったことから 11 件となりましたが、2022 年度は 30 件まで件数が回復しました。

2022 年度 (2023 年 4 月入学) の入試状況については、出願件数 60 人、入学者 48 人 (いずれも編入は含まず) となり、出願・入学とも近年では最少となりました。出願者に占める入学者の割合は、2020 年度 83.8%、2021 年度 79.4%、2022 年度 80.0%と、概ね 8 割前後であり、入学定員を満たすためには 90 件の出願が必要です。

受験者情報・音大志望の高校生情報の早期把握と本学へのインサイド化を図るうえで、高

校教諭・楽器指導者・部活動外部指導者との円滑なコミュニケーションを意識し、本学教員に早く繋げることができるよう心掛けてまいります。

#### 〔広報活動について〕

年度当初は、まだコロナ禍での高校訪問等が制限されていたこともあり、大学ホームページ、高校生応援 WEB サイトおよび各種 SNS を利用した情報発信については、更新頻度を高めるよう留意しました。夏以降は高校訪問等の頻度を高め、より直接的なイベント情報宣伝を試みました。2023 年度に向けては、コロナ後を意識した大学広報、出前授業提案、イベント情報宣伝等に注力するよう心掛けます。また、大学ホームページでの訴求力を高める改修（伝えたい情報への動線検証、SNS アイコンのページ追従、SSL 対応等）準備を行いました。

2022 年度に新たな取り組みとして導入したエリアパートナーによる広報代行業務については、担当者それぞれの活動量に差があり、また、全員が本学卒業生・修了生ということから、善意の協力として報告されない活動例もありました。当初想定していた活動レベルには達していませんが、次年度に向けた制度改定、新しい担当者の選任等により、この業務の活性化に努めます。さらに次年度は、エリアパートナー、活動エリアの同窓生、同窓会事務局、本学教職員で連携しながら、同窓会活動活性化にチャレンジします。

#### ⑥教職員研修および教職員評価について

教職員研修（SD研修会）としては、教職員および非常勤教職員を対象に以下の研修機会を設けました。4月のゴーセンス記念講演会では山内保憲神父（イエズス会）による講演「聖イグナチオの年」を実施しました。9月の教職員研修会では弁護士の河合直人氏（弁護士法人広島総合法律会計事務所）による「大学・学校生活における著作権・知的財産について」の研修に加え、新カリキュラムの進捗状況について担当教員による報告と意見交換、高等教育政策および研究倫理に関する研修を行い、全ての専任教職員および希望する非常勤教職員が参加しました。

また教職員は学外の研修会（学生募集戦略、長期化するコロナ禍での学生支援、広島県大学保健管理担当者研究集会、カトリック大学連盟職員研修他）にも参加しました。さらにFD 活動として、前・後期ともに専任および非常勤教員の授業を参観する期間を設け、専任教職員は参観を行い、感想・意見を提出しました。

教職員評価として、「年度目標と成果・反省」および「次年度目標」を記載した自己申告書（面談シート）に基づき、理事長は全ての専任教職員と個人面談を行いました。教員の業績評価は、毎年9月に提出される教育研究業績書を基に学長および役職教員が行い、次年度の昇任審査他に活用しました。

### (3) 管理について

#### ① 土地・施設設備の概要

本学の現有土地・施設設備の状況は次のとおりです。

建物（単位：㎡）

			新築年月日 (登記簿記載日)	教室	演習室 (レッスン 室)	実習室 (自習室・院 生研究室含 む)	研究室	図書室	管理用	寄宿舍	その他	合計
幟町学舎	旧神父館	鉄筋コンクリート 造陸屋根銅板葺4 階建	1979/7/10 (2015/2/17)	53	14	33	17	0	291			408
	1号館		1979/7/10	810	261	167	21		1,370			2,629
	本館	鉄筋コンクリート 造銅板葺5階建	1982/8/31	188	59		148		845			1,241
	2号館	鉄骨鉄筋コンク リート造陸屋根・ ステンレス銅板葺 9階建	1996/3/31	659	263	181	300	129	2,620			4,150
	3号館	鉄筋コンクリート 造陸屋根7階建	2016/8/31 (2017/3/27)	291	133	62	54	266	1,028			1,834
	4号館		1989/8/31	276	18	377	18	188	762			1,639
小	計			2,276	748	821	557	583	6,916	0	0	11,901
西条学舎	1号館	鉄筋コンクリート 造ステンレス鋼 板・スレート葺2階 建	1987/7/24	729		0			670			1,399
	2号館	鉄骨造亜鉛メッキ 銅板葺平屋建	1964/12/31								243	243
	3号館	鉄筋コンクリート 造スレート葺平屋 建	1987/7/24		70				55			125
	4号館	木造瓦葺平屋建	1965/4/13								68	68
	5号館	鉄筋コンクリート 造スレート葺平屋 建	1987/7/24	48					24			72
小	計			777	70	0	0	0	749	0	311	1,907
学生寮(橋本町)		鉄骨鉄筋コンク リート鉄筋コンク リート造ルーフィ ング葺9階建	1985/1/30			0				2,431		2,431
総合計				3,053	818	821	557	583	7,665	2,431	311	16,239

\*使用中の建物は、耐震性を満たしている。(西条学舎2号館、4号館は現在使用していない建物)

土地（単位：㎡）

	校舎等	運動場	その他	寄宿舍	合計	備考
幟町学舎	4,890				4,890	うち借地 872
西条学舎	27,594	8,279			35,873	
学生寮				637	637	
合計	32,484	8,279	0	637	41,400	

## ②施設設備の改修等

今年度は、施設・設備補修計画のうち、経年変化（劣化）が進む1号館の改修・修繕が中心となりました。とりわけトイレの洋式化を行い、劣化による修繕費用の増加を防ぐとともに、教職員・学生はもとより来場者の利便性を高めることができました。また前年度より継続している全館LED交換工事について、2022年度は旧神父館、1号館、本館、4号館を終了し、残りは2号館および学生寮セシリアホームのみとなりました。

同じく経年変化が進んでいる学生寮についても、給湯配管や高圧受電設備機器について、寮生の生活に支障が出ないための改修工事を行いました。

西条キャンパスについては、1号館の空調機器の更新など、東広島市との包括連携協定のもと、行事等において施設等が有効に使用できるよう整備を進めました。

経年変化への対応が中心とはなりましたが、ソフト・ハードの両面から、早急な対応に心掛け、安全・安心で快適な設備環境で教育・研究が行えるよう努めました。

2022年度に行った主な更新・改修工事関係は次のとおりです。

月	内 容
4月	学内無線LAN機器の追加設置工事
5月	1号館2階男子トイレ修繕工事
7月	1号館練習室等空調機器更新工事
7月	4号館エレベーター巻上機オイルシール交換作業
8月	学生寮セシリアホーム機械室ピット内給湯配管一部改修工事
8月	ネットワーク増強工事
9月	2号館用揚水ポンプ、2号館空調ファンコイルリモコン更新工事（2021年度計画分）
9月	1号館3階北側入口ガラス取替工事
9月	1号館ステージセリ空調機器更新工事
12月	旧神父館、1号館、本館、4号館LED交換工事
12月	西条キャンパス1号館2階教室空調機器更新工事
3月	1号館2階男女トイレ洋式化工事
3月	防火扉調整、防火ダンパー交換工事
3月	学生寮セシリアホーム高圧受電設備機器更新工事

## ③付属音楽園・エクステンションセンターについて

付属事業である付属音楽園では、音楽園と大学教育の連携を深める様々な取り組みを実施しました。在園生の質の向上はもとより、レッスンの魅力および満足度をあげる努力を行い、前年度と比較して、在園生数が増加となりました。引き続き音楽園の諸活動を活性化させ、募集活動の充実を図り、本大学進学を目指す在園生を増やす取り組みを推進します。

エクステンションセンターにおいても、年度計画にあげた全ての講座を開催することができました。また、レッスン指導の実施においても、感染症対策に留意しながら日々のレッスンを実施し、ステップアップコースの発表会（ザビエルホール）では、22人の受講生が日頃のレッスン成果を発揮しました。

### 3. 財務の概要

#### (1) 決算の概要

##### ①貸借対照表の状況

資産の部合計は前年度末比 338 百万円増加して、16,026 百万円となりました。また、基本金は、第1号・第2号の基本金の組入れにより 181 百万円増加して、14,053 百万円となりました。

資産の部合計から負債の部合計を差し引いた純資産の部合計は前年度末比 397 百万円増加して、15,595 百万円となりました。

##### ②収支計算書の状況

###### ア) 事業活動収支計算書

事業活動収入計が 1,416 百万円、事業活動支出計が 1,019 百万円となり、基本金組入前当年度収支差額はプラス 397 百万円となりました。

基本金組入後の当年度収支差額はプラス 216 百万円となり、前年度繰越収支差額 1,325 百万円と加算した翌年度繰越収支差額は 1,541 百万円となりました。

###### イ) 資金収支計算書

当年度の施設関係支出は、揚水ポンプや2号館空調ファンコイルの更新工事等で 44 百万円となりました。設備関係支出は、教育研究用機器備品の充実などにより 22 百万円となりました。

###### ウ) 活動区分資金収支計算書

教育活動資金収支差額はマイナス 156 百万円、施設整備等活動資金収支差額はプラス 13 百万円、その他活動資金収支差額はプラス 164 百万円となり、当年度支払資金は 21 百万円増加しました。これに前年度繰越支払資金 108 百万円を加算した翌年度繰越支払資金は 129 百万円となりました。

#### (2) 経年比較

##### ①貸借対照表

(単位：千円)

	2018年度末	2019年度末	2020年度末	2021年度末	2022年度末
固定資産	13,791,584	13,984,981	14,294,839	14,785,474	14,573,353
流動資産	860,433	880,035	1,002,545	902,740	1,452,803
資産の部合計	14,652,017	14,865,016	15,297,384	15,688,214	16,026,156
固定負債	297,226	285,285	394,828	361,315	339,856
流動負債	74,109	91,990	80,322	128,649	91,371
負債の部合計	371,335	377,275	475,150	489,964	431,227
基本金	12,679,131	13,076,178	13,389,115	13,872,816	14,053,657
繰越収支差額	1,601,551	1,411,563	1,433,119	1,325,434	1,541,272
純資産の部合計	14,280,682	14,487,741	14,822,234	15,198,250	15,594,929
負債および純資産の部合計	14,652,017	14,865,016	15,297,384	15,688,214	16,026,156

②収支計算書

ア)資金収支計算書

(単位：千円)

収入の部	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
学生生徒等納付金収入	461,602	413,988	441,625	452,154	452,443
手数料収入	5,843	7,425	4,622	4,466	4,368
寄付金収入	7,994	36,852	5,409	5,311	4,153
補助金収入	101,057	62,626	107,249	103,694	105,113
資産売却収入	1,457,992	891,407	1,634,862	1,080,773	1,392,180
付随事業・収益事業収入	38,701	34,744	23,306	29,891	31,306
受取利息・配当金収入	503,964	489,909	472,659	512,777	605,754
雑収入	64,757	12,745	6,869	48,344	27,539
借入金等収入	0	20,000	150,000	40,000	20,000
前受金収入	60,755	81,553	55,425	58,869	46,665
その他の収入	879,955	916,270	1,342,149	719,936	1,601,547
資金収入調整勘定	△ 107,331	△ 61,604	△ 82,494	△ 98,391	△ 79,107
前年度繰越支払資金	122,967	161,068	171,840	116,797	108,373
収入の部合計	3,598,256	3,066,983	4,333,521	3,074,621	4,320,334

支出の部	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
人件費支出	534,014	455,350	447,955	524,241	471,887
教育研究経費支出	237,888	279,567	191,861	187,679	231,950
管理経費支出	77,627	73,280	70,254	69,083	84,330
借入金等利息支出	0	16	353	372	317
借入金等返済支出	0	20,000	12,497	14,996	54,996
施設関係支出	36,202	177,012	192,170	32,369	44,581
設備関係支出	26,851	26,448	64,351	37,074	22,862
資産運用支出	2,489,477	1,852,620	3,224,784	2,070,373	3,264,962
その他の支出	48,241	18,137	18,183	38,208	22,142
資金支出調整勘定	△ 13,112	△ 7,287	△ 5,684	△ 8,147	△ 6,718
翌年度繰越支払資金	161,068	171,840	116,797	108,373	129,025
支出の部合計	3,598,256	3,066,983	4,333,521	3,074,621	4,320,334

## イ)活動区分資金収支計算書

(単位：千円)

科目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
教育活動による資金収支					
教育活動資金収入計	679,955	568,380	589,079	643,860	624,922
教育活動資金支出計	849,529	808,196	710,069	781,003	788,167
差引	△ 169,574	△ 239,816	△ 120,990	△ 137,143	△ 163,245
調整勘定等	△ 46,697	59,086	△ 27,305	△ 36,802	6,487
教育活動資金収支差額	△ 216,271	△ 180,730	△ 148,295	△ 173,945	△ 156,758
施設整備等活動による資金収支					
施設整備等活動資金収入計	149,063	280,136	996,673	582,774	474,853
施設整備等活動資金支出計	718,062	603,562	1,352,371	1,020,709	460,716
差引	△ 568,999	△ 323,426	△ 355,698	△ 437,935	14,137
調整勘定等	4,774	△ 1,146	△ 1,146	△ 1,146	△ 1,146
施設整備等活動資金収支差額	△ 564,225	△ 324,572	△ 356,844	△ 439,081	12,991
小計(教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額)	△ 780,496	△ 505,302	△ 505,139	△ 613,026	△ 143,767
その他活動による資金収支					
その他活動資金収入計	2,692,108	1,998,177	2,602,147	1,769,772	3,101,662
その他活動資金支出計	1,872,899	1,481,032	2,152,501	1,166,154	2,937,094
差引	819,209	517,145	449,646	603,618	164,568
調整勘定等	△ 612	△ 1,071	450	984	△ 149
その他活動資金収支差額	818,597	516,074	450,096	604,602	164,419
支払資金の増減額(小計+その他の活動資金収支差額)	38,101	10,772	△ 55,043	△ 8,424	20,652
前年度繰越支払資金	122,967	161,068	171,840	116,797	108,373
翌年度繰越支払資金	161,068	171,840	116,797	108,373	129,025

ウ) 事業活動収支計算書

(単位：千円)

科目		2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
教育活動 収支	事業活動収入の部					
	学生生徒等納付金	461,602	413,988	441,625	452,154	452,443
	手数料	5,843	7,425	4,622	4,466	4,368
	寄付金	8,389	36,852	5,409	5,311	4,153
	経常費等補助金	101,057	62,626	107,249	103,694	105,113
	付随事業収入	38,701	34,744	23,306	29,891	31,306
	雑収入	64,757	23,540	18,687	48,344	27,539
	教育活動収入計	680,349	579,175	600,898	643,860	624,922
	事業活動支出の部					
	人件費	509,900	455,349	447,955	506,871	465,615
	教育研究経費	364,665	413,280	346,150	341,993	392,965
	管理経費	92,129	87,996	85,124	86,491	101,691
	徴収不能額等	0	0	0	0	0
	教育活動支出計	966,694	956,625	879,229	935,355	960,271
教育活動収支差額	△ 286,345	△ 377,450	△ 278,331	△ 291,495	△ 335,349	
教育活動 外収支	事業活動収入の部					
	受取利息・配当金	503,964	489,909	472,659	512,777	605,754
	その他の教育活動外収入	0	0	0	0	0
	教育活動外収入計	503,964	489,909	472,659	512,777	605,754
	事業活動支出の部					
	借入金等利息	0	16	353	372	317
	その他の教育活動外支出	0	0	0	0	0
教育活動外支出計	0	16	353	372	317	
教育活動外収支差額	503,964	489,893	472,306	512,405	605,437	
特別 収支	事業活動収入の部					
	資産売却差額	236,946	146,895	293,043	201,328	185,404
	その他の特別収入	399	0	1	0	0
	特別収入計	237,345	146,895	293,044	201,328	185,404
	事業活動支出の部					
	資産処分差額	76,847	52,279	152,525	46,222	58,813
	その他の特別支出	0	0	0	0	0
特別支出計	76,847	52,279	152,525	46,222	58,813	
特別収支差額	160,498	94,616	140,519	155,106	126,591	



基本金組入前当年度収支差額	378,117	207,059	334,493	376,016	396,679
基本金組入額合計	△ 247,238	△ 397,046	△ 312,937	△ 483,701	△ 180,841
当年度収支差額	130,879	△ 189,987	21,556	△ 107,685	215,838
前年度繰越収支差額	1,470,671	1,601,550	1,411,563	1,433,119	1,325,434
基本金取崩額	0	0	0	0	0
翌年度繰越収支差額	1,601,550	1,411,563	1,433,119	1,325,434	1,541,272

(参考)

事業活動収入計	1,421,658	1,215,979	1,366,601	1,357,964	1,416,079
事業活動支出計	1,043,541	1,008,920	1,032,107	981,948	1,019,400

### (3) 主な財務比率比較

比率名	算式	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
事業活動収支差額比率	基本金組入前当年度収支差額	26.60%	17.03%	24.48%	27.69%	28.01%
	事業活動収入計					
基本金組入後収支比率	事業活動支出	88.86%	123.20%	97.95%	112.32%	82.53%
	事業活動収入計-基本金組入額					
学生生徒等納付金比率	学生生徒等納付金	38.98%	38.72%	41.14%	39.09%	36.76%
	経常収入					
人件費比率	人件費	43.05%	42.59%	41.73%	43.82%	37.83%
	経常収入					
教育研究経費比率	教育研究経費	30.79%	38.66%	32.24%	29.57%	31.93%
	経常収入					
管理経費比率	管理経費	7.78%	8.23%	7.93%	7.48%	8.26%
	経常収入					
流動比率	流動資産	1161.04%	956.66%	1248.16%	701.71%	1590.00%
	流動負債					
負債比率	総負債	2.60%	2.60%	3.21%	3.22%	2.77%
	純資産					
純資産構成比率	純資産	97.47%	97.46%	96.89%	96.88%	97.31%
	負債+純資産					
基本金比率	基本金	99.96%	99.97%	98.97%	99.12%	99.24%
	基本金要組入額					
教育活動資金収支差額比率	教育活動資金収支差額	△42.09%	△65.17%	△46.32%	△45.27%	△53.66%
	教育活動資金収入計					

(注)「経常収入」=教育活動収入計+教育活動外収入計

(4) その他

①有価証券の状況

区分	銘柄 数量	帳簿価格 (千円)	時価 (千円)	表示科目	摘要
債券	外国債券 86 口	8,442,459	8,572,828	第3号基本金引当特定資産ほか	
	外国債券 7 口	670,838	791,832	有価証券	翌年度満期
	円貨債券 0 口	0	0		
株式	株式 29 銘柄	1,818,558	3,556,706	第3号基本金引当特定資産ほか	
投資信託	なし				
貸付信託	なし				
その他	REIT 12 銘柄	1,103,676	1,249,976	減価償却引当特定資産ほか	
	外貨 MMF ほか	629,496	706,486	有価証券ほか	
計		12,665,027	14,877,828		

②借入金の状況

借入金の種類	借入先	金額(千円)	摘要
長期借入金	市中金融機関	92,514	返済期限：令和12年5月
短期借入金	市中金融機関	34,996	
	(うち返済期間が1年以内の 長期借入金)	〃	(14,996)
計		127,510	

③学校債の状況

該当なし

④寄付金の状況

寄付金の種類	寄付者	金額(千円)	摘要
75周年記念募金	同窓会	2,533	
奨学資金ほか	後援会ほか	1,520	
一般寄付	篤志家	100	

⑤補助金の状況

私立大学等経常費等補助金	一般補助	83,692 千円(前年度比 103%)
	特別補助	1,772 千円(前年度比 50%)
	授業料等減免費交付金	18,059 千円(前年度比 120%)
市町村補助金		1,590 千円(前年度比 42%)

⑥収益事業の状況

該当なし

⑦関連当事者との取引状況

該当なし

以上、法人の概要、事業および財務の概要について報告いたしましたが、18歳人口が減少し、今後も厳しい状況が予想される中で、入学者確保は最重要課題です。今後も、大学教育研究の充実、学生募集他の経営基盤の確立に向けて、教職員は一丸となり、日々努力してまいります。皆様のご支援とご理解を賜りますようお願い申し上げます。